



福山市民病院広報誌

特集

初期臨床研修  
修了に寄せて

医事課のお仕事



福山市民病院理念

質の高い安全な医療を通じて「安心と生きる力とやすらぎ」を  
地域に提供するとともにこころ豊かな医療人を育成する

地域医療支援病院

地域がん診療  
連携拠点病院

救命救急センター

肝疾患診療  
連携拠点病院

災害拠点病院

臨床研修病院

緩和ケア病棟  
承認施設

第二種感染症  
指定医療機関

DPC 特定病院群

がんゲノム医療  
連携病院

小児救急医療  
拠点病院

紹介受診重点  
医療機関

# 巻頭言

## 2025年度の 診療部の活動を振り返る

2022年4月に診療部長に任命され、4年が経過しました。

診療部は医師＋歯科医師(計190名)、ドクターアシスタント・DA(56名)、歯科衛生士(3名)から構成される大所帯です。診療部長の仕事は、構成員の考え方や行動様式の多様性を認めつつ、地域医療を支えるという目的のために意思統一を図り診療部を一枚岩にすることであります。これは今後変わらないと思っています。

診療部の目標を2022年度は『和(わ)』、2023年度は『躍進』、2024年度は『躍動』と掲げました。その結果、病院の全体的な業績、医療収益は回復傾向にあります。しかしながら、患者さまやそのご家族、あるいは紹介医の先生方から手厳しいご意見・ご批判を頂戴することもしばしばあり、『もう少し優しく言葉をかけていけば』『もう少し優しい態度を示せていたら』と反省しきりでした。コロナ禍で落ち込んだ業績の復活にとらわれすぎて、周辺に対する思いやりが足りなかったのかもしれない。

よって、コロナ禍を『和』で乗り切り、『躍進』を経て『躍動』している今、我々に必要なものは患者さん、ご家族、そして職員への『優しさ』と考えました。医師をはじめ医療者が他者に対して優しさを発揮することは必要とされる根本的資質です。そこで、原点に立ち返り、診療部の2025年度の診療部基本方針を『優』と設定し、『優しい診療』、『優良な医療』を目指すことにしました。そして1年間、月例の医局会でうるさいほどに『優』を唱えてまいりました。

振り返ってみますと、2025年度は新たな医療訴訟の発生はなく、調査委員会を設置しなければならぬような医療事故も発生しませんでした。兼任する安全管理室長として例年数件ずつ経験する患者さんやご家族との交渉事もありませんでした。平和な1年であったと言えます。そういう意味では、係争に至ることのない優しい医療ができていたものと考えています。ただ1件外来診療において全く優しさを欠いた事例があり、患者さ

まのご家族から文書にて大変なお叱りを受けました。後日、診療部長と当該診療科の統括科長と2時間にもわたり謝罪し、診療部の体質改善を約束しました。大きな反省点です。

**2025年度診療部基本方針**

**『優』**

“優”を使った言葉：優しい、優秀、優良、優勝、優位  
Oxford Languageより

コロナ禍を『和』で乗り切り、『躍進』をへて『躍動』している今、我々に必要なものは患者さん、ご家族、そして職員への『優しさ』と考えます。2025年度は『優しい診療』、『優良な医療』を目指しましょう。

福山市民病院  
FUKUYAMA CITY HOSPITAL  
2025年4月2日 診療部長

診療部長は月1回、定例医局会を開催して、医師にさまざまなことを報告・協議します。昨年の本稿同様、主なものを振り返ってみました。



診療部長 安全管理室長  
乳腺甲状腺外科科長  
池田 雅彦

- 〔4月〕 新入職医師の紹介
- 2025年度診療部基本方針発表
- 救急外来におけるオーダーの伝達法
- 〔5月〕 G-CSF投与には医師診察が必須
- 当直室の適正利用
- 〔6月〕 日直、当直の変更の仕方について再確認
- 救急外来での諸問題
- 看護部特定行為の解説(野々平看護副部長)
- 〔7月〕 カスハラを受けたときの対応
- 『身体拘束等最小化に向けた指針』の解説
- 院外型PBP M(医師・薬剤師が事前に合意したプロトコルに基づき、薬剤師が薬物治療を管理すること)の導入について
- 〔8月〕 コードブルーシステム検討会議での決定事項の伝達
- 身体拘束等最小化に向けた取り組み指針の運用

# 「ばら」127号 CONTENTS

## 2 巻頭言

### 特集

## 4 初期臨床研修修了に寄せて

## 11 医事課のお仕事

### 14 2024年度決算の概要について

#### 連載

16 第4回 ばーす れたー

17 第4回 ちょっとホネやすめ こつこつコラム

18 第22回 小児科ミニコラム

21 ニュース

22 研修医日記、管理者室より、  
外来診療担当表等(QRコード)

23 病院利用者の皆さまからのご意見箱

24 院内保育施設「ひまわり」



【表紙写真】

当院の初期研修医(2年目)の集合写真です。

・血液培養陽性時の対応マニュアル ver.2

### 【6月】

・休日(身体拘束の同意を家族から取得する責任医師)  
・外来採血室に来られた患者の検体検査オーダーの入力間違い問題  
・パニック値のすべてを医師に報告すべきか？

### 【10月】

・診療報酬を適正に算定するために必要なこと  
・「外来迅速検体検査加算」「悪性腫瘍特異物質治療管理料」の入力

・「救急医療管理加算」の入力  
・「副病名」の入力

・診療情報提供書・返書作成のルール改訂

・入院予定リストの作成廃止のお知らせ

・免疫チェックポイント阻害薬による免疫関連有害事象スクリーニング検査解説

### 【12月】

・福山市民病院の経営課題と病床管理(高倉病院事業管理者)

### 【1月】

・放射線科の読影所見の取り扱いに関する注意事項  
・他院の医師と患者受診の約束をした場合のルールを再確認  
・DPC運用管理委員会から当院における救急医療管理加算と副病名入力の現状報告

### 【2月】

・画像診断管理加算3の確実な算定について解説

・新規運用開始となるPBP Mについて解説

### 【3月】

・警察からの依頼による遺体A I

・に関する取り決め  
・麻薬注射箋運用変更の解説

これらの内容は、①医師の適正な業務のための規定の解説、②当院における適正な業務の遂行方法、③診療部における新しいルールの制定、以上の3種類に分類されました。一昨年も昨年も本項でほぼやりましたが、それにしても毎月毎月、医局会前日の資料作りは本当に骨が折れます。でも、この努力をしているからこそ診療部の構成員の意思統一ができているものと信じて、夜遅くまで一言一句推敲しながら作成しております。実際、年々、規律ある組織になりつつあることを感じています。

2026年度の診療部はどうなるのでしょうか。皆さんご存じかと思いますが、ここ数年の医療

材料費高騰と人件費高騰に対して医療費の増額が見合っていないことを発端として、日本全国の病院の約8割が赤字経営に苦しんでおり、今後、多くの病院が廃業となることが予想されています。当院もまさしくこの渦中にあり、医業収益は増収なのに赤字転落という悲しい事態になっています。医業収益のほとんどは医師の労働から発生しますので、赤字解消のためにはさらに多くの高度診療を効率よく行うしかありません。一方で医師の働き方改革は遵守する必要があり、ワークライフバランスも考慮…。この大いなる矛盾の中、われわれはもがき苦しんでいます。2026年度の新体制で少しでも明るい兆しが見えることを期待しています。



初期臨床研修医 大西 俊輝

このたび、福山市民病院における二年間の初期臨床研修を修了することとなりました。振り返ると、私にとって非常に濃密で、多くの学びと温かな出会いに満ちたかけがえのない時間であったと強く実感しております。

当院での研修では、内科系、外科系をはじめとする幅広い診療科をローテートさせていただきました。急性期医療から慢性期医療まで、多種多様な疾患や背景をもつ患者さんを診療する機会に恵まれ、救急外来や病棟での日々を通じて、多くのことを学びました。特に、疾患だけを捉えるのではなく、患者さんの生活や背景を含めた「全体を診る」という姿勢の大切さを教わりました。実践的な症例を数多く経験できたことは、今後の医師人生の大きな財産です。

また、日々の研修を支えてくださったのは、熱心にご指導いただいた指導医の先生方だけではなく、放看護師、薬剤師、臨床検査技師、放

射線技師、リハビリスタッフの皆さまをはじめ、多くのコメディカルの方々から、現場での実践的な知識やチーム医療の重要性を学ばせていただきました。いつも気にかけてくださった先輩研修医の先生方、共に悩み、励まし合った同期、そして頼もしい後輩たちの存在に何度も助けられました。そして何より、研修医である私を温かく受け入れてくださった患者さんとそのご家族の皆さまに、深く感謝申し上げます。

最後に、来年度から当院の泌尿器科専攻医として勤務させていただきますこととなりました。この二年間で学んだ基礎と、患者さんに向き合う姿勢を忘れることなく、より専門性を高め、福山の地域医療に一層貢献できる医師を目指して研修で得た経験とご縁を胸に、これからも一歩一歩成長していきたいと思っております。二年間、本当にありがとうございました。

最後に、来年度から当院の泌尿器科専攻医として勤務させていただきますこととなりました。この二年間で学んだ基礎と、患者さんに向き合う姿勢を忘れることなく、より専門性を高め、福山の地域医療に一層貢献できる医師を目指して研修で得た経験とご縁を胸に、これからも一歩一歩成長していきたいと思っております。二年間、本当にありがとうございました。



初期臨床研修医 岡本 雅史

私は広島市出身で、福山地域にはこれまで特別な縁があったわけではありません。そのような中で福山市民病院を初期研修先として選んだ理由は、各診療科がバランスよく揃っており、特に救急科が独立して充実している点に魅力を感じたからです。将来どの診療科に進むとしても、まずはさまざまな疾患や重症度の患者さんを経験できる環境で研修したいと考えていました。

実際に初期研修を終えてみて、その選択は間違っていないと感じています。救急外来では軽症から重症まで多様な症例を経験することができ、初期対応の重要性やチーム医療の在り方を学びました。また、各診療科をローテートする中で、日常診療で頻繁に遭遇する疾患から専門性の高い症例まで幅広く経験したことで、臨床医としての基礎を身に付ける貴重な時間となりました。

どの診療科の先生方も非常に優しく、研修医の立場に寄り添いながら

丁寧に指導してくださったことが強く印象に残っています。将来自分が進まない診療科でも、診療の考え方や知識を深く学びました。それらは今後どの分野に進んでも必ず役立つと感じています。

また、当院は地域の中でも同期の研修医の人数が比較的多く、先輩・同期・後輩に恵まれた環境でした。仕事面だけでなく私生活においても支え合い、充実した時間を過ごせたことは、二年間の研修の中で大きな力となりました。

最後になりますが、来年度以降も内科専攻医として当院で勤務させていただきますこととなりました。初期研修で学んだ基礎を土台に、より専門的な知識と技術を身につけ、患者さんに信頼される医師となれるよう、今後も日々精進していきたいと思っております。多くの方々に支えられて研修を終えられたことに感謝し、その期待に応えられるよう努力を重ねてまいります。



初期臨床研修医

岡本 侑也

岡山で生まれ育った私にとって、福山市市民病院での初期臨床研修は、医師としての第一歩を踏み出すと同時に、初めて慣れ親しんだ土地を離れて自立する、大きな挑戦の始まりでもありました。修了を目前に控えた今、この地で過ごした濃密な時間は、私の医師としての根幹を成すかけがえのない財産となったと確信しております。

当院での研修の最大の特長は、診療科の垣根を越えた横断的な学びの深さにあります。とりわけ内科ローテーションにおきましては、多領域にわたり数多くの症例を経験させていただきました。多様な病態に触れる中で、診断に至る論理的思考や、患者さまの背景を含めた全人的な管理をご指導いただいたことは、医師としての視野を大きく広げる経験となりました。また、志望する整形外科では多くの外傷症例を通じて機能再建の責任の重さを肌身に感じ、麻酔科・救急科では容体急変時やシヨツ

ク状態における迅速な全身管理を実践しました。内科では診断力、救急では対応力を培い、その双方が私の糧となっております。

未熟な私がこうして研修を全うできたのは、厳しくも温かくご指導くださった上級医の先生方、日々の診療を支えていただいたコメディカルの皆さま、そして何より、私を医師として成長させてくださった患者さまの存在があつてこそです。恵まれた環境で研鑽を積めたことに、深く感謝申し上げます。

来年度からは、整形外科専攻医として新たな環境へ身を移しますが、当院でご指導いただいた「全身を診る視点」と「外傷診療の経験」を礎に、患者さまの心身の痛みに真摯に向き合う整形外科医を目指し、一層の精進を重ねてまいります。2年間、誠にありがとうございました。



初期臨床研修医

河村 和輝

このたび、初期臨床研修を修了するにあたり、ご挨拶申し上げます。

私はこの2年間、福山市市民病院にて初期研修医として貴重な経験を積ませていただきました。日々の診療を通じて、common diseaseへの対応から救急医療、各専門科における幅広い症例まで、多岐にわたる知識と技能を習得することができました。

特に、上級医の先生方から常に丁寧かつ建設的なフィードバックを賜り、診断推論のプロセス、患者さまおよびご家族への説明の在り方、チーム医療の重要性について実践的に学ぶことができたことは、私にとって計り知れない財産となりました。また、看護師をはじめとする多職種の方々にも多大なるご指導を賜り、医療は一人では成り立たないという事実を深く認識いたしました。

研修医生活は決して平坦なものではなく、診療における自身の未熟さを痛感した経験や、思うように物事が進まず苦悩した経験も少なくあり

ませんでした。しかしながら、その一つひとつの経験が自己反省の機会となり、医師としての責任感や覚悟を培ってくれたと確信しております。辛いと感じた経験も含め、すべてが現在の私を形づくる貴重な糧となりました。

来年度からは広島市民病院総合診療科にて研修を継続いたします。これまで当院で培った基礎を礎に、より広範な視点で患者さまを診察することのできる医師へと成長してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、2年間温かくご指導賜りましたすべての皆さまに心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



初期臨床研修医 工藤 梨世

私は幼い時から家族が大学病院などでお世話になる機会が多く、気付けば医学部を目指していました。近大福山中・高を卒業後、3年間の浪人生活を経て広島大学医学部に入学しました。浪人生活中にドラマで救急医療に興味をもった私は、入学時に渡された大量のビラの中から救急サークルを見つけて入部しました。

以降も救急医療への興味は変わらず、初期臨床研修病院を決める際には生まれ育った福山市に戻りたい気持ちもあり、三次救急を担っている福山市民病院を研修先に志望しました。

2024年4月から研修医として働き始め、つい数か月前まで国家試験に向けて毎日大学の同期と部屋にこもって勉強していたのに、実際に臨床となると何からどうしたらいいのか全く分からず頭が真っ白になり、PHSの着信音がこわかったのを覚えています。しかし先輩や指導医の先生、看護師さんはその都度フォローしてくださり徐々に慣れていくこと

ができました。2年ほど経った今でもまだまだ未熟者でご迷惑ばかりおかけしてしまう毎日ですが、自分でできることを少しずつこなしていけるようになってきたかと思えます。

研修1年目は内科メイン、2年目は救急科以外にも興味があった産婦人科、整形外科を選択しました。産婦人科では緊急手術、夜間の分娩なども呼んでいただき、整形外科では夜間の外傷の緊急手術に参加させていただき大変勉強になりました。私は志望科を登録する期限直前まで救急科と整形外科で悩みたくさんの方々に相談に乗っていただき、救急科へすすむことに決めました。

最後になりましたが、この2年間で過ごした時間は本当に充実しておりかけがえのない研修生活でした。現在の私があるのはたくさんの方々が気にかけて、ご指導していただいたからだと思います。来年度からもさらに精進してまいりたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



初期臨床研修医 清水 沙紀

福山市民病院で初期臨床研修医として働かせていただいて、早くも2年が経とうとしています。各診療科の先生方、看護師さんをはじめさまざまな職種の方に支えられて少しずつ成長を感じられる毎日を過ごしております。

医師を志して初めて患者さんと接した大学時代の臨床実習は、新型コロナウイルスの流行期の真っ只中で、接触制限などもあり上級医の仕事を間近で見られる機会に恵まれなかった時期もありました。進路に悩んでいた私は働く自分が想像できず、初期研修は自分の将来を決めるためにできるだけの多くの診療科が揃っている総合病院に行きたいと考え、地元から近く、救命救急センターを含めほとんどの診療科が揃っており、より患者さんとの距離が近い当院を志望しました。第一志望の病院から内定をいただき、医師免許も無事取得できて一安心した3月と一転して、4月の救急外来は特に不安でいっぱいでした。右も左も

分らない中で根気強く教えてくださった2年目の先生方や上級医の先生方、看護師さんには本当に感謝しております。あれから時間も経ちさまざまな科をまわらせていただく中で、多くのことを勉強することができました。後輩もでき教える立場になって初めて勉強不足を実感したり、地域医療として福山こころの病院や福山南病院で研修をさせていただき、患者さんの家庭や地域での生活の場を考へて必要なサービスや行政などの介入をする重要性や医師としての関わり方の一端を学ばせていただきました。当院での2年間で、成長できた部分を感じるとともに、日々の診療の中で至らない点も多くあるのが現状です。来年度からも引き続き当院で循環器内科医として地域医療に貢献できればと思っております。精一杯努めますので、これからもご指導・ご鞭撻をよろしく願います。



初期臨床研修医 高嶋 遼太郎

このたび、福山市市民病院での二年間の初期臨床研修を修了するにあたり、これまで支えてくださった患者さま、指導医の先生方、そして病院スタッフの皆さまに心より感謝申し上げます。

研修医として歩み始めた当初は、目の前の業務をこなすことで精一杯でした。しかし、日々の診療や患者さまとの対話を通じて、医療は単に診断や治療を行うだけでなく、一人ひとりの人生や価値観に向き合う営みであることを学びました。病気の種類によっては、今後の人生に一生関わってくるものであったり、人生設計を大きく変えざるを得なかったりするような疾患もあります。丁寧に話を聴き、不安に寄り添い、疑問点があればわかりやすく説明する姿勢こそが、信頼関係の礎であると実感しています。

また、手技や救急対応、チーム医療の実践など、多くの技術と知識を身に付ける機会にも恵まれました。

当院のみならず提携する複数の研修病院で学ぶことで、高次機能病院としての観点のみならず、地域に根ざした医療の現場や、限られた資源の中で最善を尽くす視点にも触れることができました。それぞれの現場で出会った患者さまや先輩医師、コメディカルの皆さまの姿は、今後の自分の指針となる大切な財産です。

4月から引き続き、消化器内科専攻医として福山の地で勤務いたします。専門性を高めると同時に、これまで培った「患者さん中心の医療」を忘れず、地域の皆さまに信頼される医師を目指して精進してまいります。福山の医療の一端を担う者として、皆さまの健康と安心を守るため、謙虚な姿勢で学び続ける所存です。これからもご指導ご鞭撻の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。



初期臨床研修医 高田 将汰

春寒の候、皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。ご健勝のこととお慶び申し上げます。

初期臨床研修の2年間を終えるにあたり、これまで温かくご指導・ご支援くださったすべての皆さまに、心より御礼申し上げます。

研修医として過ごした日々は、医学的知識や手技の習得にとどまらず、患者さん一人ひとりと誠実に向き合う姿勢、医師として判断を下す責任の重さ、そして多職種が連携するチーム医療の重要性を学ぶ、非常に密度の濃い時間でした。日々の診療の中で常に根拠を大切にされた診療姿勢や、患者さんへの丁寧な説明の重要性を示してくださった諸先生方から学んだことは、今後の臨床において大きな指針となっております。

また、診療の最前線で支えてくださった看護部・コメディカルの皆さまの存在なくして、研修を全うすることはできませんでした。至らぬ点も多く、ご迷惑をおかけした場面も少なくあ

りませんが、そのたびに温かく声をかけ、的確にご助言いただいたことに、改めて深く感謝しております。共に研修を乗り越えた同期や、背中多くを教えてくださいました先輩方の存在も、日々の大きな励みでした。

研修期間中には、成功体験だけでなく、自身の未熟さを痛感する場面も数多くありました。その一つひとつが、医師として成長するために欠かせない経験であり、振り返るといわずとも今後の糧になると感じています。このような学びの機会を与えていただいた環境に、心より感謝しております。4月からは外科専攻医として、新たな立場で引き続き当院でお世話になります。研修医として培った基礎を大切にしながら、さらなる研鑽を重ね、患者さんに信頼され、チームの一員として貢献できる外科医となれるよう努力してまいります。

今後とも変わらぬご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



初期臨床研修医 高田 涼平

この場をお借りして2年間の振り返りと今後の進路に関して書かせていただこうと思います。

私は福山市出身で福山誠之館高等学校、宮崎大学を卒業し、医師人生の始まりを地元で行いたい、生まれ育った福山の医療に少しでも貢献したいとの思いから当院を志望いたしました。無事に入職が決定し、いざ働きだしてみると、知識としては知っていても実際の患者さんを前にすると何をしていいかわからず、己の無力さを痛感する毎日でした。それでも1学年上の研修医の先輩方や上級医の先生方、看護師をはじめとしたコメディカルの皆さまに優しくご指導いただき、そして根気強く見守ってくださいましたおかげで少しずつではありますが確実に成長することができていますように感じます。また同期にも恵まれ、さまざまな出来事を共有し、お互いに教え合える環境でもあったことは私にとって非常にありがたいことでした。

来年度からも引き続き当院の整形外科で後期研修をさせていただきます。初期研修医のときは違い、仕事量も多くなり、責任も重くなります。整形外科で働かれています先輩専攻医の姿を見て4月から自分も同様にできるのだろうかとても不安ですが、愚直に一步一步成長していければと思っております。

最後になりましたが、この2年間ご指導いただいた皆さまに感謝申し上げます。初期研修医として学ぶことを今後の診療業務にも活かし、これから先もより多くのことを学び、身につけていかなければなりません。ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



初期臨床研修医 高橋 美世

福山市民病院での初期研修医生活は、私にとってかけがえのない2年間でした。

まず、研修を通してさまざまな出会いがありました。専門分野を極め第一線で活躍される先生方、研修医に近い立場で親身にアドバイスをくださる専攻医の先生方、日々の診療での疑問や悩みを相談できる同期や先輩、患者さまのわずかな変化や訴えに気づいてくださる看護師の皆さま、薬剤についていつでも優しく教えてくださる薬剤師の皆さま、挙げればきりがありません。多職種の方々との良い出会いに恵まれ、非常に充実した日々を送ることができました。

また、貴重な経験をたくさん積むことができました。コモンな疾患から、高度な専門性を有する疾患、複数診療科が関与する複雑な症例まで、幅広い症例を経験させていただきました。教科書だけでは得られない臨床現場での経験は、今後の医師人生においても大きな財産になると感じています。加えて、学会発表や論文

執筆など、学術的な活動にも携わる機会をいただき、医師として成長するための大きな励みとなりました。

そしてこの2年間は多くの学びがありました。研修中には疾患、薬剤、手術手技など覚えることの多さに圧倒されつつも、自分の知識や技術が患者さまの役に立ったと実感できたときは嬉しく思いました。その中でも手術の手技を学び実践することになったため、診断から手術、化学療法まで一貫して患者さまを診ることができる泌尿器科に魅力を感じ、専攻を志しました。

4月からは当院を離れ、新たな環境で泌尿器科医としての一歩を踏み出します。当院で学んだことを糧に、より良い診療ができるよう精進いたします。最後になりましたが、ご支援くださったすべての方々、患者さまやご家族の皆さまに心より感謝申し上げます。



初期臨床研修医

野々垣 賢人

福山市民病院に入職し、早くも2年が過ぎました。過ぎてみればあつという間であり、医師国家試験を終えて福山に引越してきた日をついこの間のように感じます。私は学生時代より呼吸器外科を志望しており、呼吸器外科を含めて外科研修が充実していることを理由に当院での研修を希望しました。字が汚いので小論文など不安はありましたが無事入職することができ良かったです。研修医として働き始めてからは未経験の仕事ばかりであり、たくさん嫌な汗もかきつつの研修でした。先生方やコメディカルの方々へもいろいろご迷惑おかけしたとは思いますが、そうした中でも病棟管理や救急診療など、しっかりとさまざまなことについてご指導くださり感謝の念に堪えません。日常の臨床経験だけでもたくさんのことを学ばせていただいた2年間でしたが、さらに学会発表も数多く参加させていただきました。全国の医師たちが集まる会場に赴い

て発表・交流するという経験はなかなか他では得難いものであり、そのような経験を幾度もさせていただいたことはとてもありがたいことだと感じています。外科手技などのハンズオンセミナー等も参加する機会を多くいただき、貴重な模型などを使った訓練を体験することができました。総じて2年間充実した研修内容で多くのことをまなぶことができました。こうして無事に2年の研修を終えられたのは先生方やコメディカルの方々、事務等の病院運営にかかわる方々、そして地域の方々の温かいご指導と支え、ご理解があったおかげだと感じております。ありがとうございました。来年からも当院で外科専攻医として日々精進していきたいと思えます。何卒、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



初期臨床研修医

村上 拓

初期臨床研修の修了にあたり、ご指導いただいた先生方、共に働いたスタッフの皆さまに心より感謝申し上げます。研修開始当初は、初めての土地での生活に慣れず不安もあり、診療でも目の前の患者さんに「何を優先して考え、何を確認し、どう動くべきか」に迷うことが多くありました。それでも日々の業務の中で、少しずつ病院の流れや役割が分かるようになり、周りの方に助けられながら経験を重ねることができました。研修では救急外来での初期対応から病棟管理、各専門科での診療まで幅広く経験し、基本的な考え方や知識を身につけることができました。急変時に備えて準備をしておくこと、迷ったら早めに報告・相談して情報を共有することなど、周囲と連携する大切さも学びました。1年目は内科を中心にローテーションし、診療の進め方や記録の書き方など、基礎から丁寧に教えていただいたことが今の支えになっ

ています。2年目は外科系を重点的に回り、縫合やドレーン管理などの手技に加え、術前評価や術後の観察ポイント、当直帯の対応など日常診療の進め方を具体的に学ぶことができました。

来年度も引き続き当院で外科専攻医として勤務する予定です。初期研修で得た基礎を土台に、焦らず基本手技や周術期管理を身に付け、分らないことはその都度確認しながら診療に取り組んでいきたいと思っています。まだまだ未熟ですが、引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお申し上げます。

福山市民病院

## 第21代レジデントの皆さんへ



副院長  
臨床研修プログラム責任者 内科 植木 亨

第21代レジデント(研修医)の皆さん、2024年4月に当院で初期研修を開始して以来、さまざまな経験を重ねた2年間だったことと思います。12名の同期全員が揃って初期研修を修了できることを大変嬉しく

思います。日進月歩の医学の世界で生きていくうえで、「一生使える基礎」が学べたのではないかと思いますので、どうかこの礎の上に、さらに高みを築いてください。

進路は循環器内科、消化器内科、総合内科、感染症内科、消化器外科、呼吸器外科、泌尿器科、整形外科、救急科と多岐にわたり、12人中9人が当院で専攻医として研修を続けま

す。これは当院にとって大きな戦力アップとなると同時に、皆さんの成長を身近で見られることを指導医一同楽しみにしています。

重みを感じながら、さまざまなことを学び、成長していかなければなりません。そこで専攻医として仕事を始める上で大切だと思われることを贈る言葉にしたいと思います。

### 1. 誰にも負けない努力をする

専攻医の3年間は、将来を決定づける最も重要な時期です。目の前の患者さんに真摯に向き合い、診療・学術活動・自己研鑽に愚直に取り組むこと、その積み重ねが、皆さんを想像以上の高みへ導きます。無我夢中で打ち込む時期にこそ、人は飛躍的に成長します！

### 2. 信頼無くしてチーム医療なし

あらためて伝えます。医療は決して一人で完結しません。多職種力が結びついてこそ、安全で質の高い医療が実現します。初期研修を支えてくれたすべての職員への感謝を忘れず、専攻医となっても謙虚さと礼節を大切にしてください。挨拶や感

謝の言葉は、良好なチーム医療を生み、結果として患者さんや地域医療への貢献につながります。

### 3. 困難に直面したときこそ、成長のチャンスである

思い通りにいかない症例や厳しい指摘は、自分を一段高める機会です。逆境を避けず、学びに変える姿勢が医師としての深みを育てます。皆さんは一人ではありません。周囲の助けも借りながら、明るく前向きに困難を乗り越える姿勢は、周囲にも好影響を与えます。

### 4. 人生・仕事の結果II

#### 考え方×熱意×能力

努力(熱意)や技術(能力)があっても、医師としての哲学や品格、つまり「考え方」や「振る舞い」が間違っていれば、結果はマイナスになります。掛け算です！誠実な使命感、敬意と礼節を伴う周囲への振る舞いという正しいベクトルを常に持って

ください。これは医師人生を通じて磨き続ける最も重要な基盤です。

以上は『生き方』(稲盛和夫、サンマーク出版)および『稲盛和夫の言葉』(桑原晃弥、リベラル社)を参考に、私なりにアレンジしたものです。これらを胸に刻んで貪欲に学び、優しさと力強さを兼ね備えた医師へと成長してください。仕事や人生で迷うことがあれば、いつでも相談してください。皆さんの今後の飛躍を心から期待しています。



# 医事課のお仕事



医事課は、「庶務」と「情報企画」の2担当で構成されています。庶務担当は、窓口負担金の収納・未収金管理、医事・外来受付・コンシェルジュ・患者給食・入院療養等・臨床検査・医事システム等の業務委託契約、物品購入、周産期医療や健診、予防接種、感染対策、治験に関する業務を行っています。

## 医事課が委託契約をしています

西館1階総合案内



西館1階中央採血室



本館1階総合受付



情報企画担当は、診療報酬の請求・点検・医事統計、診療録等の管理、開示請求への対応、施設基準の届出・管理、がん登録、システムや院内データを活用した経営分析などに関する業務を行っています。

その他、診療録管理・救命救急・療養環境・がん拠点病院・クリニカルパスなど各委員会の事務局、ドクターカー対応、加茂地区診療所の出張診療事務、病院の広報刊行物の編集・発行、地域医療連携課との連携業務などは、担当の垣根を超え、スタッフ全員で取り組んでいます。





## 『医業収益向上の取組推進』を ミッションに掲げる情報企画担当!!

診療実績等のビッグデータを含めた**情報**を用いて

- ①収益向上に直結する加算
- ②適切な施設基準の届出
- ③集患と人材確保にフォーカスした広報

**企画**から実施まで包括的に行っています。

日々、業務に関する声がとびかい、とても活力のある部署です。  
その中でも調和はしっかりとれており、ほんのり温かさも感じています。



**8時30分**  
(業務開始)



朝礼で各自が  
報告事項を伝えます。



広報誌に  
掲載する記事を  
確認中です。



職員同士で話し合いながら  
効率的な業務遂行に  
努めています。



法令や過去の事例を参考に  
正確な資料作成を  
行っています。



## 病院の「顔」を支える庶務担当!!

病院で一番最初に患者さまをお迎えする受付、一番最後の計算・会計の窓口を、見えないところで支えています。

個別のお問合せや相談、忘れ物対応、担当する講座の開催の時などにはお会いすることもあります。普段は本館1階の事務室で地道に事務をしています。

受付・会計から外来、入院、給食など、患者さまに身近な事務を、安心して受診していただけるように、多様な職種や委託事務のスタッフと連携・調整し、療養環境の改善に努めています。

病院の雰囲気にもつながると思うので、ざっくばらんに意見を交わしながらも明るい雰囲気でも、互いに助け合いながら、笑顔で業務に取り組んでいます。

契約に関する資料確認をしています。



他部署からも医師や看護師が来られ、質問に対して医事課の職員が回答することも多くあります。



## ★ 広報室からのお知らせ ★

2026年8月の新本館第1期完成にあわせ、当院のInstagram開設とホームページリニューアルの準備を進めています。

皆さまに必要な情報を分かりやすくお伝えできるように工夫していきます。

詳細は次号の広報誌に掲載します。お楽しみに!!



17時15分  
(業務終了)



2024年度

# 病院事業会計決算の概要について

管理課長 近藤 剛

## 1. 業務状況について

2024年度は、圏域内で地域完結型の医療体制を構築するため、新本館建設工事に継続して取り組むとともに、2026年度の新本館Ⅰ期完成に向けた開院準備を進めてきました。事業の実施にあたっては、現行機能である「救急医療」、「がん医療」、「高度専門医療」の強化、周産期母子医療センターの開設による周産期医療の充実、東館・西館を含めた部門配置・動線機能の見直しによる全体機能の最適化の3項目を大きな柱としています。

「がん化学療法」については、2024年4月に外来化学療法センターのベッドを20床から26床に増床し、年間8,000件を超える外来化学療法を実施しました。

また、周産期医療体制の強化をめぐり、「産科セミオープンシステム」を導入しました。さらに周産期母子医療センターの開設に向け、新たに「プレNICU(3床)」を立ち上げ、後期早産児や低出生体重児に対応し

ています。

2025年1月には、医療情報システムの再構築が完了しました。電子処方箋をはじめとした、国が推進する医療DXに対応するとともに、ランサムウェア対策など情報セキュリティも強化しました。また、部門システムについて、老朽化した機器及びシステムの更新等を行いました。引き続き、医療需要の変化に柔軟かつ的確に対応しながら、安心・安全で良質な医療提供体制を構築していきます。

## 2. 患者数等の状況について

**産科セミオープンシステムとは**  
初期・中期(妊娠33週まで)の妊婦健診はかかりつけの産科医療機関で受け、後期(妊娠34週以降)の妊婦健診から分娩は当院で実施する周産期医療連携体制のことです。

入院患者数については、新型コロナウイルス感染症流行前の水準に回復していないものの、延患者数・実患者数ともに増加しました。なお、

延患者数を診療科別にみると、内科、小児科、整形外科などで増加しています。

外来患者数については、前年度に比べ、加茂地区診療は減少したものの、市民病院では増加したため、全体としては延患者数・実患者数ともに増加しました。診療科別にみると、内科、精神科、整形外科などで増加しています。

## 3. 財政状況について

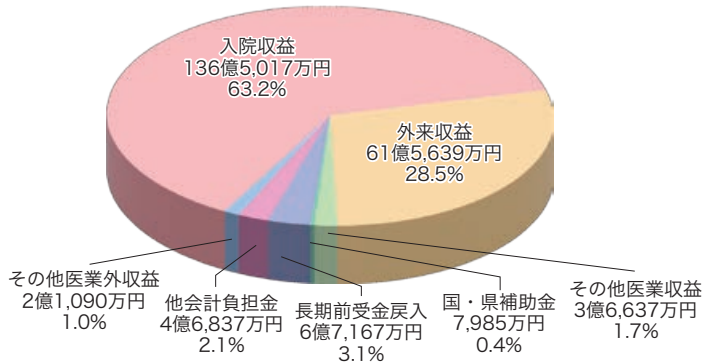
当年度の事業収益については、前年度に比べ患者数が増加したことにより、入院収益、外来収益ともに増加したことなどから、約8億7,200万円増の216億372万円となりました。

事業費用については、給与費の増加や物価高騰による経費の増加などにより、前年度に比べ約14億1,100万円増の231億4,863万円となりました。この結果、事業収支は差引15億4,491万円の純損失を計上することとなりました。

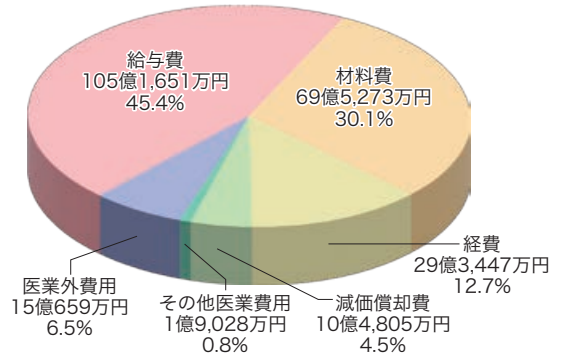
区分	単位	2024年度	2023年度	対前年度比較		
				増減	増減率(%)	
入院	一般病床数	床	500	500	0	0.0
	年間延患者数	人	148,994	139,486	9,508	6.8
	1日平均患者数	人	408.2	381.1	27.1	7.1
	年間実患者数	人	17,552	16,911	641	3.8
	病床利用率	%	81.5	76.0	5.5	-
	平均在院日数	日	9.3	9.0	0.3	3.3
外来	年間延患者数	人	220,725	219,167	1,558	0.7
	市民病院	人	220,629	219,037	1,592	0.7
	加茂地区診療所	人	96	130	△ 34	△ 26.2
	1日平均患者数	人	908.3	901.9	6.4	0.7
	市民病院	人	907.9	901.4	6.5	0.7
	加茂地区診療所	人	0.4	0.5	△ 0.1	△ 20.0
	年間実患者数	人	157,704	156,075	1,629	1.0
	市民病院	人	157,608	155,945	1,663	1.1
加茂地区診療所	人	96	130	△ 34	△ 26.2	

※病床利用率は一般病床数に対するものである。 ※「加茂地区診療所」は「広瀬、山野診療所」を表す。

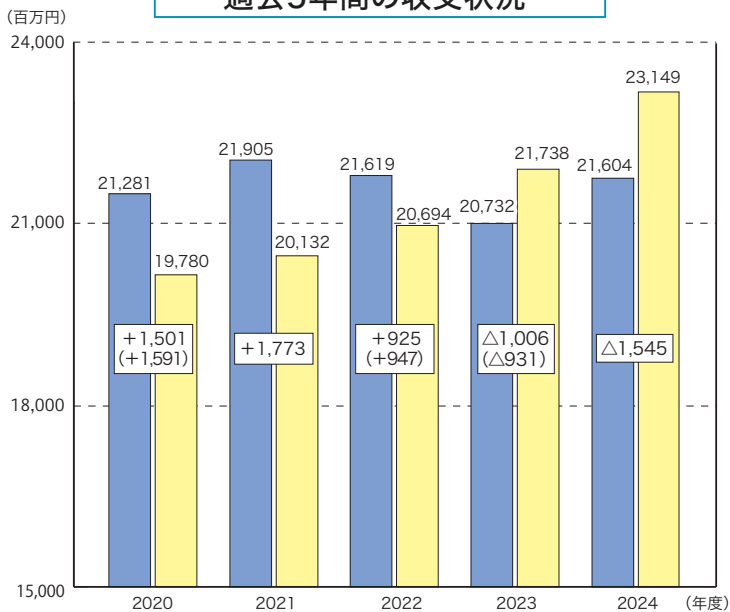
### 病院事業収益 216億372万円



### 病院事業費用 231億4,863万円



### 過去5年間の収支状況



■ 病院事業収益  
■ 病院事業費用

※各年度における棒グラフ中段、□枠内の値は「病院事業収益」から「病院事業費用」を差し引いた収支、2020年度、2022年度及び2023年度の( )内は資産処分に係る特別利益・特別損失を除いた収支である。



東4病棟 助産師

## 今回のテーマ『外国人妊産婦について』

当院における外国籍の妊産婦は増加傾向にあります。2021年度から2023年度にかけては2～3名程度でしたが、2025年度には10名を超えています。外国人妊産婦が増加した主な要因は福山市の外国人住民が増加していることに加え、当院の分娩件数も年々増えていることです。本市の外国人住民は2014年9月末時点で6,452人でしたが、12年たった2026年には約2.0倍に増加しています。その国籍は、多い順にベトナム、フィリピン、中国となっています。



外国人妊産婦における一番の問題は、言語です。現在当院に英語が話せる助産師はいますが、英語圏ではない外国人妊産婦が多いため、病院側の指導や説明等や、相手側の訴えが伝わりにくいという問題があります。その場合、AI翻訳機を使用したり、パートナーや友人に日本語通訳を頼んだりして、説明をしています。しかし、オムツ交換などの育児技術は見て覚えることは可能ですが、先天代謝異常などの検査説明は専門用語もあり、説明が難しいです。



次に外国人妊産婦の家族へのサポート不足も問題です。夫しか頼れる人がいない、その夫も日中は仕事でいないなど、負担が大きい場合は、妊娠中から保健師が介入して、退院後も継続して支援できるよう努めています。また、夜中に陣痛がきて、タクシーを呼ぼうとするも、外国人であったためなかなかつかまらなかった事例もありました。このように、社会的にもサポートが得られにくい状況があることも事実です。助けを求めたいけど、どのように支援を受ければいいのかかわからない…。そのようなことがないように、助産師は市の関係部署と連携をとりながら、外国人妊産婦に切れ目のないサポートをしていく必要があります。

また、宗教上の問題もあります。イスラム教の場合、豚肉が禁止されていますが日本の粉ミルクに含まれているタウリンの一部のタンパク質は豚由来です。豚由来のタンパク質が入っていないミルクは、ハラールミルクと呼ばれ、今後イスラム教の妊産婦が増えた場合、導入の検討が必要と考えます。また、敬虔なイスラム教徒では女性医師しか診察を許されないこともあります。日中、女性産婦人科医師が勤務していますが、夜間帯は当番制で、いない場合もあります。そうしたときの対応方法も考えていく必要があります。

今後、外国人が増加していくことは不可避であり、それに伴い、外国人妊産婦が増加していくと考えられます。当院の周産期母子医療センター設立にむけ、上記の課題に対応できるように努力していきます。



# ちょっとホネやすめ コラム Vol.Ⅳ

## その肩の痛み、本当に「五十肩」ですか？

整形外科 市川 天彦

肩が痛くて腕が上がらないと、「年のせいだから五十肩でしょう」と言われたり、自分でもそう思い込んでしまうことがよくあります。しかし実際には、肩の痛みの原因は一つではなく、五十肩と似た症状を示す病気は複数存在します。その中でも特に重要なのが腱板断裂で、治療方針が大きく異なるため、正しい見極めが必要です。

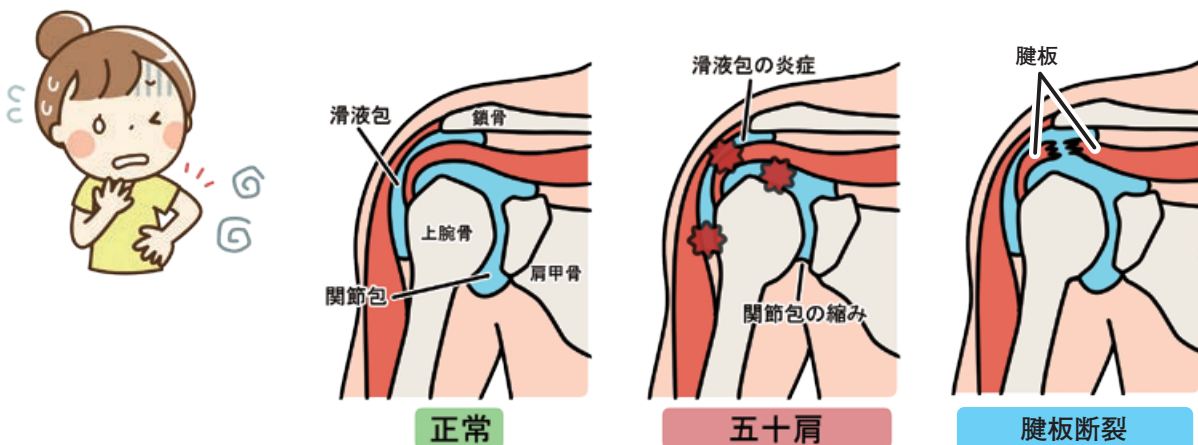
五十肩は正式には肩関節周囲炎と呼ばれ、肩関節を包む関節包や靭帯が炎症を起こして厚く硬くなる病気です。多くは明らかなきっかけがなく発症し、動かすと強い痛みが出て、次第に肩の動く範囲そのものが狭くなっていきます。自分で動かしても、誰かが動かそうとしても同じように可動域が制限されるのが特徴で、夜間痛のために眠れなくなることもあります。経過は数か月から1年程度と長いものの、多くの場合は時間とともに徐々に改善していきます。

一方、腱板断裂は肩を動かすための重要な筋肉の腱が切れてしまう状態です。転倒や重い物を持ったことをきっかけに発症することもあれば、加齢による変性で知らないうちに断裂している場合があります。症状は五十肩とよく似ており、腕が上がらない、夜にズキズキ痛むといった訴えがみられますが、大きな違いは「力が入りにくい」ことです。

自分では上げられなくても、支えてもらうと比較的にスムーズに動くことがあり、この点が鑑別の重要なポイントになります。断裂の大きさや年齢、生活様式によっては手術が勧められることもあります。

さらに、肩の痛みの原因には他にもいくつか代表的な疾患があります。肩の骨の下にある滑液包に炎症が起こる肩峰下滑液包炎では、動作時痛が強く、腕を横から上げると痛みが出やすいのが特徴です。腱に石灰が沈着して急激な激痛を生じる石灰沈着性腱炎では、突然の強い痛みで夜も眠れなくなり、発熱や腫れを伴うこともあります。また、首の神経が圧迫される頸椎症や椎間板ヘルニアでは、肩だけでなく腕や手までしびれや痛みが放散することがあります。まれに心臓や肺などの内臓疾患が関連して肩に痛みを感じる場合もあり、注意が必要です。

このように、「肩が痛い＝五十肩」と単純に決めつけてしまうと、本来治療が必要な腱板断裂や他の病気を見逃してしまう可能性があります。痛みが長引く、夜間痛が強い、腕に力が入らない、しびれを伴うといった症状がある場合は、自己判断せず、整形外科で適切な検査を受け、原因をはっきりさせることが大切です。本当に五十肩なのかどうかを見極めることが、早期回復への第一歩となります。



# 小児科ミニコラム *Mini Column*



福山市民病院 小児科 科長 みたに おさむ 三谷 納



vol.22

## てんかんと併存症 ～神経発達症を中心に～

いよいよ最終回になりました。今回は小児のてんかんにおいて代表的な併存症である神経発達症についてお話していきます。(ページ数の関係で神経発達症自体については詳しくお話しできません)

### ●てんかんの併存症

今まで何度もお伝えしてきましたが、「てんかん」の最大の治療目的は、生活を豊かにすることです。

当然、発作のコントロールは治療の最大の目的であることはいうまでもありませんが、併存症や取り巻く環境に支障がでているようでは、生活の質の向上は望めません。

つまり、てんかん発作ばかりにとらわれている

ようではダメで包括的な介入が重要となるわけです。そのためには具体的にどのような併存症があるのか把握しておく必要がありますね！

てんかんの併存症としては図1のようなものが代表的です。小児において特に多く重要となるのは、神経発達症(発達障がい)と睡眠-覚醒障がいです。

**併存症**

- ✓ **神経発達症**  
知的能力症群, 自閉スペクトラム症, 注意欠如多動症 etc...
- ✓ **睡眠-覚醒障がい**  
(※神経発達症に含む場合もあり)
- ✓ **精神症状**  
うつ病, 心因性発作, 心理社会的問題 etc...
- ✓ **身体的疾患**  
運動障がい, 脳性麻痺, 側弯症, 呼吸器系障がい, 消化管系障がい, 内服薬に伴う副作用 etc...

図1 てんかんの併存症

## ●てんかんと神経発達症

神経発達症とてんかんは併存することが多く、興奮抑制機構のアンバランスを共通基盤とした神経ネットワーク機能の障がいという、共通の病因・メカニズムがあるとされています。

てんかん患者さんの約1/4に多動、約1/2に不注意をみとめ、約1/5の患者さんでは注意欠如多動症(ADHD)の診断基準にあてはまり、小児てんかん児の20%で自閉スペクトラム症(ASD)を併存しているとされます。

知的発達症(知的障がい)全体で約1/4にてんかんを合併し、知的にも運動機能的にも症状が重いほど有病率は高くなります。

2/3の患者さんがてんかん発症後に神経発達症の診断をうけるとの報告もあり1)、てんかんの発作症状が落ち着いている方でも認知・行動面等の発達のチェックが重要となることは臨床において少なくありません。

そして、てんかん発作自体も神経発達症と間違えられる場合があります。多いのは欠神発作です。授業中などにボーっとしている時間が多い場合には発作と気づかれず、注意散漫のお子さんと思われてADHD疑いで精査を依頼されたことも何度か経験があります。

## ●てんかん治療において注意すること

てんかんと診断され、治療するにあたってはいくつかの注意点があります。

代表的なものとしては抗てんかん発作薬の副作用です。以前紹介した表を再掲します。

### 抗てんかん発作薬副作用と神経発達症併発での副作用リスク変化

薬品名	主な副作用	神経発達症併発での副作用リスク変化※
カルバマゼピン	めまい,発疹,眠気,低Na血症…	
バルプロ酸	体重増加,振戦,肝機能障害,高NH3血症…	体重増加リスク上昇↑,低カルニチン血症↑,骨折リスク↑
フェノバルビタール	発疹,眠気,認知機能低下…	認知機能低下リスク↑↑,多動性-衝動性↑↑
フェニトイン	めまい,複視,発疹,小脳萎縮,認知機能低下…	認知機能低下リスク↑
クロバザム	眠気,流延,めまい,発疹,依存性…	(時に)多動性-衝動性↑,依存性↑
クロナゼパム	眠気,流延,めまい,発疹,依存性…	(時に)多動性-衝動性↑,依存性↑
ゾニサミド	幻覚妄想,抑うつ,体重減少,発汗減少,尿管結石,発疹…	認知機能低下リスク↑,精神症状(無気力,うつ症状)悪化リスク↑,尿管結石↑
トピラマート	眠気,体重減少,発汗減少,尿管結石,発疹…	認知機能低下リスク↑,精神症状悪化(うつ状態)リスク↑,尿管結石↑
ガバペンチン	眠気,めまい,体重増加…	体重増加リスク上昇,(時に)易怒・興奮↑
エトスクシמיד	発疹,眠気,行動異常,血小板減少,再生不良性貧血…	(時に)行動異常リスク↑
ラモトリギン	発疹,めまい…	(まれに)行動異常
レベチラセタム	眠気,腎機能障害,易怒・興奮・行動異常…	易怒性・興奮性の出現リスク↑↑
ペランパネル	めまい,眠気,易怒・興奮…	易怒性・興奮性の出現リスク↑↑
ラコサミド	めまい・ふらつき,心伝導障害…	(まれに)精神症状

※重症心身障害児(者)も含む,三谷 私見も含まれる

岩城博隆,兼子直.精神神経学雑誌121:24-29 より引用・三谷改変

図2 抗てんかん発作薬の副作用と神経発達症併発での副作用リスク変化

図2の左は主な抗てんかん発作薬の副作用、右は神経発達症併発での副作用リスクの変化です。

抗てんかん発作薬には元々、イライラや興奮・易怒性が出現しやすい薬がありますが、神経発達症を併発している場合にはさらに出やすい傾向があります。

また認知機能低下のリスクが増加する可能性が示唆される薬もいくつかあります。

また、元々寝たきりなどの重症心身障がい児(者)で

は、発作が難治に経過しやすいため多剤併用となりやすく、抗てんかん発作薬の副作用が強く出たり、傾眠傾向となったりすることもあります。

神経発達症の面からいうと、ADHDやASDに対して適応のある薬物がありますが、特に中枢刺激作用のあるものは、てんかん発作症状の発症や増悪の可能性があると添付文書に書いてあるものもあります。

## ●てんかん発作と神経発達症のどちらの介入に力をいれるか？

てんかんと神経発達症が併存している場合には、どちらに力をいれるのか悩むことも少なくありません。とはいうものの、臨床現場ではどちらかを放っておくわけにはいかないことも多いです。

特にてんかん発作は目に見えやすく介入されやすいですが、神経発達症や副作用はわかりにくく介入が後回しにされやすい傾向があります。

そして、困っている症状は時間軸で変化していく場合もあります。後から露わになることもあります。

ですから私は症状が落ち着いていても、原則患者さん本人の受診をお願いしています。

誰のための治療や介入かをはっきりさせるためでもあります。本人の表情や仕草を実際に見て、(場合によって話をうかがうことで)得られる情報があるからです。

治療介入においては、

- ・今、何が一番困っているのか？
- ・何をターゲットに介入するのか？

を明確にしなければなりません。

仮にてんかん発作の増悪のリスクが上がるかもしれないが、神経発達症の症状で一番困っている場合には、同意を得た上で薬を導入することもしばしばあります。

**てんかん発作にしる、神経発達症にしる、治療介入は生活を豊かにするためのツールである、**という考えは変わらないわけです。

引用・参考文献

- 1) 中川栄二：診断と治療のABC 2018；130：130-8

## 追記

3年半の間、私のコラムにお付き合いいただきありがとうございました。

コラム終了の理由は、2026年3月で当院を去ることになった為です。

2009年4月に初期研修医として医師生活をスタートさせ、広島市民病院にいた1年半を除いて15年半、福山市民病院でお世話になりました。

このコラムを中途半端で終わってどうなるんだよ！って思われますよね…？

実は…発表させていただきたいことがあります。このコラムもきっかけの一つで、某大手医学出版社様からお声がけいただき私は現在、**小児のてんかん・けいれんについての本を執筆中**です。

ジャンルは医学書となります。専門家向けのマニアックなものではなく、**患者さんやご家族、患者さんにかかわる教育現場や療育現場の方、看護師さん含めたコメディカルの方、研修医・専攻医・開業医・非専門で小児医療に携わる先生方を対象に啓発+プライマリケアを中心とした内容**になっています。

私自身、恥ずかしながら誇れる知名度も業績もありません。

立派になることはできないけど、せっかく両親からいただいた人生。何か医師として、男として形になるものを残せたら…と思いながらここ10年以上過ごしてきました。このコラムを始めたきっかけも、いつか本を書きたいという目標に向かってのものでした。

残念ながら本のタイトルや刊行時期など詳細はまだ公表できませんが、今年中には出版される予定です。ヒントだけ出しておきます。拙著での私のイラストサンプルです。ネコちゃんとのタッチのイラストをみれば、シリーズを読まれている方は気がつくかもしれません…

こんな有名なシリーズに携われて感謝しかありません。

このコラムの続きの内容も本には書いていますので、もし本屋やネットで見つけられず手にとっていただくと幸いです。

最後に私が医師になって17年間、毎日朝起きた時に心で唱えてきた大切な人からもらった言葉を紹介させてください。

**『早くたってゆっくりだって、とにかく走り続ければたどりつける場所がある。』**

紆余曲折があり、壁の多い医者人生で立ち止まることも多かったけど、この言葉を信じて走り続けてきました。

そしてここまでやってこられたのは、たくさんの職場の方、患者さんに支えていただき育てていただいたからです。

今まで私に携わってくれたすべてのみなさんに心から感謝します！

ありがとうございました(^^) /



第135回 日本消化器内視鏡学会中国支部例会  
専攻医奨励賞を受賞しました！

内科 荻原 優人

2025年11月29日に開催された支部例会にて「残瘻に発生した、EUS-FNAで診断しえたCampylobacter gracilisによる炎症性肉芽腫の1例」という演題で専攻医奨励賞を頂きました。自ら診断方法を考え行動し、治療に結び付けその後のフォローアップも行う一連の苦勞と達成感を感じた症例でした。今回発表を行う過程で、植木先生や小川先生をはじめとした指導医の先生方、臨床検査科、病理検査科、放射線科など多くのメディカルスタッフのお力添えを頂きました。誠に有難うございました。現在この症例を世に残る形に仕上げ、今後の医療の発展に寄与できるよう英語論文作成中です。

次回、第136回日本消化器内視鏡学会中国支部例会が愛すべき福山の地で2026年7月12日に開催されます。会長は当院副院長の植木先生であり、間違いなく素晴らしいものになると確信しております。領域、職種に関わらず是非会場に集いましょう。



NEWS 2

第124回 日本消化器病学会中国支部例会  
専攻医奨励賞を受賞しました！

内科 小西 史哲

2025年11月29日に岡山市で開催された第124回日本消化器病学会中国支部例会において、専攻医奨励賞を受賞いたしました。日常診療と並行して学会発表の準備を進めるのは容易ではありませんでしたが、石原先生、安中先生、藪下先生をはじめ、多くの先生方のご指導を賜り自信をもって発表することができました。ご助力に深く感謝申し上げます。発表では、切除不能肝細胞癌に対し薬物療法後に経皮的エタノール注入療法と胆管冷却下ラジオ波焼灼療法を組み合わせる治療した症例を報告しました。治療戦略を立てるうえでの注意点など



臨床的理解を深める貴重な機会となりました。

今後とも日常診療に精進し研鑽を積むとともに、学会発表等の学術活動も引き続き行っていきたいと考えております。

NEWS3

福山市民病院で、いろいろな講習会を開催しています！

麻酔科・集中治療室 / NPO福山エリア救急コミュニティ 石井 賢造

一般市民の方が対象の講習会 参加費無料  
 こどもから大人までどなたでも参加可。  
 参加申込、内容の詳細、開催日時はQRコードから確認できます。



問い合わせ先：fushaneriaj@gmail.com

◆HUG(避難所運営ゲーム)を活用した避難所初期運営の基礎  
 「もし緊急避難場所や避難所で開設初期の運営に関わることになったら」どうするかを学びます。

所要時間は120分

◆PUSHコース  
 動画(アニメ)を活用して短時間(45分間)で一次救命処置・特に『胸骨圧迫とAEDの使い方』を学びます。



医療従事者対象の講習会(有料)  
 AHA BLS, ACLS, PALS, PEARS, ICLS, ICLS-WSなどを随時開催。

AHA



ICLS

ICLS-WS



第5回ふくやま子どもメディカルラリーを開催しました！

救命救急センター HCU 笠井 悠介

2025年11月24日に福山市民病院を会場とし、第5回ふくやま子どもメディカルラリーを開催しました。子どもメディカルラリーとは、小学校4～6年生が心肺蘇生法や応急手当を学び、その後、実際の応急手当の現場を想定したシミュレーション行い、楽しみながら命の大切さを学ぶイベントです。

当日は小学生35名の参加と、麻酔科石井先生協力の下で、院内外からボランティア約100名が集まりました。また、当院リハビリテーション科スタッフ、緩和ケア病棟の協力を得て、リハビリ・介護機器の体験も実施しました。



参加者からは「困っている人を助けたい」「命を大切にする」など、心強い言葉をたくさん頂きました。このようなイベントを通して、誰もが安心して過ごすことのできる福山市の一助となれることを願っています。



NEWS4

研修医日記

初期臨床研修中の先生達が自由なテーマでリレー形式で執筆し掲載しています。



福山市民病院外来診療担当表

当院の最新の外来診療担当表を掲載しています。



管理者室より

当院の事業管理者高倉範尚先生からのメッセージを月1回程度掲載しています。





## 内 容

## 回 答

### 設 備

お世話になります。手術が終わるのを待っています。ネットで時間つぶししようと思いましたが、電波(Wi-Fi)が弱くアクセスできないサイトがありました。改善できましたらお願いします。

回答者

管理課

病院の建物は防音、防火、放射線遮蔽のため、壁が厚く、電波が遮断される場所があります。本館2階家族待合室、東館2階家族控室に無線LANアクセスポイントを設置していますので、それら近辺での使用をお願いします。

### 設 備

面会は10分ですが、お部屋にイスがあればと思いました。よろしくお願いします。

回答者

療養環境  
整備委員会

病室には、1ベッドにつき折り畳み椅子を1つ準備しています。ただ、患者さんの療養生活上、手狭になることもあり片付けている場合があります。必要な場合は遠慮なく近くの職員にお声かけください。

### 設 備

事情もあるとは存じますが、従来通りATMを続けていただけませんか。お願いします。

回答者

管理課

ATMは、金融機関側の事情により撤去されました。ローソン店舗内に設置されているATMで現金の払出し、振込などの手続きはできますのでそちらをご利用ください。

### そ の 他

CTの間が寒いです。  
タオルケットなどほしいです。

回答者

放射線科

待合が寒い場合は、タオルケットなどを準備しておりますのでお声がけください。待合のモニターでアナウンスを行っています。検査室内は機械の管理上、寒くなっている場合がありますので検査時に確認させていただきます。

回答者

看護部

タオルケットは準備がありますので、お気軽にお声がけください。

## 謝意

心温まるお言葉を励みに今後も頑張ります。

院内の食事に携わっておられる皆さま、日々真に有難うございます。

中でも、栄養士の皆さまには、私ども患者にとって、病体栄養の元、一人ひとりの病状に合わせた食事を携供していただき、感謝致しております。 (諸外国にくらべ) 物価高の折、限られた予算内でのやりくりが大変なことと存じます。にも関わらず、患者個々の嗜好にも取り組んでいただき、感謝を重ねております。事務局さまより、ご関係の皆さまによりしくご伝声いただきますようお願いいたします。

この度は小児科で大変お世話になりました。休日の急な入院で初めてのことでとても戸惑いましたが、看護師さん方の優しさに大変救われました。子どものこととなると、気になることも多くたくさん質問してしまいましたが、どの看護師さんも嫌な顔せず対応していただき感謝しています。小児科の看護は大変な部署で成人にはない大変さがたくさんあると思います。私自身小児に関しては知らないことばかりで、今回の入院はとても勉強になりました。この度は大変お世話になり、ありがとうございました。

院内保育施設

# ひまわりから

節分のイベントを行いました。  
鬼のお面をかぶり、ダンボールの鬼に向かって豆まきをしていましたが、途中から本物の鬼が登場。泣いてしまう子もいましたが、元気よく豆まきをし、鬼を退治することができました。

## 節分 豆まき

### 読み聞かせ

3体の鬼が描かれた絵を見せて先生が読み聞かせをしています



### 自作のお面

鬼のお面をかぶった姿がかわいい♡



### 鬼の襲来

怖がりながらも鬼に立ち向かっています



### 練習の豆まき



先生の説明を真剣に聞いています



### 鬼とのショット

記念に鬼とパシャリ



鬼の顔が描かれた大きなダンボールに向かって「鬼は外!!!」



### 鬼との別れ

最後も怖がりつつ鬼とお別れしていました



### 交通のアクセス

●山陽自動車道福山東インターより車で2分  
**「東城・府中」方面へ進んでください**  
国道182号線に出られたらすぐ右折レーンにお入りください  
(「福山市街」方面からは右折が困難です)

●JR福山駅より  
車で15分 バスで20分  
福山駅前2・8番乗場  
↓  
福山市民病院下車

※広報誌「ばら」に対するご意見をお寄せください。

**福山市民病院** 〒721-8511 広島県福山市蔵王町5丁目23-1  
電話 (084)941-5151 FAX (084)941-5159

ホームページ ●<https://www.fc-hosp.jp/>  
電子メール ●[shimin-byouin@city.fukuyama.hiroshima.jp](mailto:shimin-byouin@city.fukuyama.hiroshima.jp)



リサイクル適性(A)  
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。